

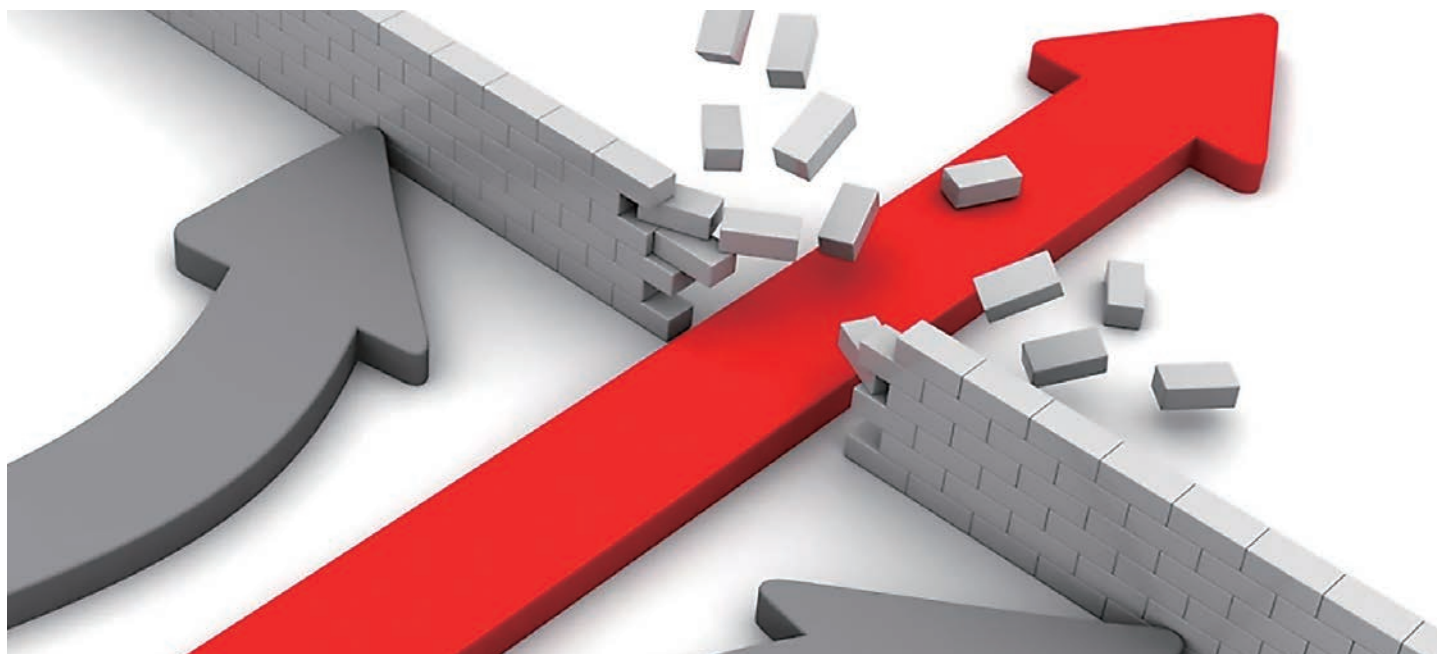
「女性視点で考える→防災ブレークスルー会議」

趣旨

- ・ 多様な立場の女性達の視点と知恵を活かした「災害時の不安解決に向けた **女性**防災会議」です
- ・ 災害は多くの場合「**弱者**により **厳しいもの**」になります、人として何を感じ・何ができるのかを「心理的安全性を確保」したなかで 認識交換をして防災につなげていきます

目的

- ・ 行政広報からは得られていない、女性目線からの「情報を共有し**本音**」で話しあう
- ・ 災害を恐れるのではなく、女性達が日々の生活から感じとった「こうすれば良いのでは？」のアイデア提案を、皆で話し考える事により、常識を越えた新しい新案(ブレークスルー)を得られると期待しています!!
- ・ 昼間の発災には「地域防災力の要」にならざるを得ない女性達が「どう考え行動するか」は重要な **鍵** となります、多様な参加者の思いを共有し行動につなげたいと考えています



開催日時： 2022年 **12月15日**(木) 午前10～午後12時

場 所： **図書館第2会議室**

定 員： 20名限定

申込み **✕**： **12月12日**(月)

参加者： 団体・個人OK 各パネリストプレゼンのあとにGミーティング

- ・ 防災に「女性視点は重要」と考えている方
- ・ 災害時の対応や避難生活について「新たな気づきを持ち提案してみたい」と思う方
- ・ 全世代の協力が必要と考え、その繋がり方法を提案出来るかもと考えている方

など大歓迎!!

申込み先 山田 ひさ ☎ 090-3236-6285

メール hisa-diva@vega.ocn.ne.jp

〔主催〕 マザーアース茅ヶ崎 〔後援〕 茅ヶ崎市男女共同参画課

知って → 皆で考え → ブレークスルー(新案)

パネリスト 紹介

愛川 真白 あいかわ ましろ 被災時の食卓を明るくする防災食(被災後の食品関連)



おうちごはんの専門家、家庭料理のお困りごとを解決し、毎日楽しく食事をするための情報を毎日発信。最近では「災害食料理」が大人気! 東日本大震災のニュースや防災の専門家の話を聞いて、災害時に少しでも心がホッとできるお料理はできないだろうか?と考へ、オリジナルレシピを考案。本イベントでは、空気が張り詰めた避難所でも、子供のストレスを減らせる「乾パンチョコカナッペ」。使用する水やガスが最低限なのに、普段の食事とほぼ同じ「水漬けパスタ」。一昔前のエコな方法で作る「乾燥大豆のトマトビーンズ」の3品をご紹介します。



【メールアドレス】mashiro.ouchigohan@gmail.com

上杉 桂子 うえすぎ けいこ 災害を考えた時「障がいのある人と家族の思い」と実態



市内円蔵在住、夫と息子2人との4人家族。次男に知的障がいと自閉スペクトラム症があります。防災については頭の痛い課題です。災害時の避難方法や避難生活、障がいのある息子を抱えてその後の生活設計が成り立つのだろうか、等々、解決できていないことが山積しています。特に避難生活については、集団の中で過ごすことの難しい障がい者の問題が仲間内でも課題となっています。

NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン理事

山田 ひさ やまだ ひさ 女性達の能力をいかそう!! 被災後の国からの支援とは?



茅ヶ崎市は神奈川県最大の同時多発延焼火災木造密集クラスター地域で今も日々住宅は増えており、平日の発災に女性達の活躍なくして減災は望めません。海岸地区では避難所開設を考えた「女性防災会議」を開催し参加された40名あまりの方と「情報共有とワークショップ」を1回行っただけで、その後の「避難所開設運営訓練」ではめざましい活躍をされました。

女性特有の多様な事象認識と対応能力は日々の生活の中で育まれた力といえます。女性達が防災を自分事として自信を持って行動出来れば、災害時のあらゆる事態を良い方向に向けられると信じています。

特定非営利活動法人日本危機管理士機構 自然災害 危機管理士2級 No.210927

特定非営利活動法人日本防災士機構 防災士 No.197916

地区防災計画学会 会員

海岸地区まちぢから協議会運営委員 防災安全部会長

【主催】 マザーアース茅ヶ崎 【後援】 茅ヶ崎市男女共同参画課